

FlexibleEntry Ver7.0の変更点は次の通りです

1. 追加機能および改善点

- ①利用ミドルウェアのバージョンアップや対応ブラウザの変更
- ②様式設定情報のエクスポート・インポート機能追加
- ③お知らせ内容の画面登録機能追加
- ④その他機能追加・改善

2. 不具合の改修

3. 注意事項

- ①クライアントPCの推奨環境
- ②様式作成における注意事項

4. 別紙（参考）

- ①お知らせの登録手順と表示内容

1. 追加機能および改善点

①利用ミドルウェアのバージョンアップや対応ブラウザの変更

利用するミドルウェアについて、以下の通りバージョンアップを実施しました。

- OS : RHEL8.8(64bit)
- Tomcat : 10.1.X
- PostgreSQL : 15.3
- Pgroonga : 3.0.9
- Node.js : 20.4.X

利用ブラウザについて、FireFoxをサポート対象外とし、Google Chrome、Microsoft Edgeとします。Ver7.0開発時点の動作確認済のブラウザのバージョンは以下の通りです。

- Google Chrome : 121.0
- Microsoft Edge : 122.0

②様式設定情報のエクスポート・インポート機能追加

様式の画面項目やワークフロー等の設定情報をExcelフォーマット（設計書形式）への出力・入力できる改善を行いました。

詳細は次の通りです。

- ・管理者メニューに、設定情報エクスポート、設定情報インポートのメニュー追加
- ・設定情報エクスポート画面で情報IDを指定して、設計書形式の添付ファイルを作成する機能を追加
- ・設定情報インポート画面で設計書を添付して、様式をインポートする機能（画面項目のみが対象）を追加
- ・設計情報をインポートによって、既存様式の更新を実施可能

③お知らせ内容の画面登録機能追加

お知らせ内容を登録する様式を提供し、業務管理者が実体登録画面にてお知らせ内容を登録できる機能追加を実施しました。

詳細は次の通りです。

- ・管理者メニューに、お知らせの新規登録や検索の操作メニューを追加
- ・お知らせの登録画面で、お知らせのラベル、タイトル、本文、添付ファイル、掲載期間を登録可能
- ・お知らせの掲載期間内に、ユーザがログイン後、お知らせメニューからお知らせ内容を確認可能

④その他機能追加・改善

◆様式エクスポート・インポート機能の改善

- ・利用会社間で様式・ワークフロー情報をファイル形式で エクスポート・インポートによるコピーを可能とすることで、様式・WFの作成稼働の削減しながら テンプレートとして提供しやすいように機能改善

◆API様式のパスワード暗号化の改善

- ・FEのAPI様式で設定するパスワードや認証情報のデータベース管理における暗号化によるセキュリティ向上

◆基本情報エリア・申込情報タブのロール制御機能の改善

- ・タスク管理画面の基本情報エリアの申込情報タブ表示項目において、ロール単位で設定可能によるオペレーション業務の改善

◆タスク一覧のボタン制御の改善

- ・タスク管理画面の基本情報エリア内のボタンの表示制御において、ロール単位で設定可能によるオペレーション業務の改善

◆タスク通知メールの機能拡張

- ・タスク通知メール機能拡張し、登録情報に基づくメール通知を全てのメール送信契機にて可能とすることによるメール通知機能の改善

◆スクリプト機能の提供関数の拡張

- ・すべての公開APIにおいて、スクリプト内の関数として利用できるようにスクリプトの機能改善

◆アカウント登録画面の項目表示改善

- ・アカウント登録画面の項目表示において、不要なラベル削除や更新不可項目の非活性化等の改善

◆公開APIのOAuth2.0認証のデフォルト化

- ・利用会社の初期設定でOAuth2.0認証のみ利用可能とすることによるセキュリティ向上

◆添付ファイルの拡張子制限

- ・セキュリティ向上のため、添付ファイルの拡張子の制限機能を追加

2. 不具合の改修

- FE7.0_0001 : 実体登録画面で行削除時、保存後の再表示時に削除前の行数に戻る不具合事象の改修
- FE7.0_0002 : 実体情報コピー時に項目制御項目に値が設定されない場合がある不具合事象の改修
- FE7.0_0003 : リスト形式の行追加時のデフォルト値設定されない場合がある不具合事象の改修
- FE7.0_0004 : 公開API(情報登録、情報更新)で参照表示リストが設定されない不具合事象の改修
- FE7.0_0005 : 公開APIによるワークフロースキップ時にタスク開始メールが送信されない不具合事象の改修
- FE7.0_0006 : 入力タイプがユーザ定義の項目において、ツールチップが表示されない不具合事象の改修

3. 注意事項

①クライアントPC・タブレットの推奨環境

【PC】

- ・OS: Windows10以降
- ・ブラウザ: Google Chrome(121.0以降)、Microsoft Edge(122.0以降)
- ・解像度: 1920x1080以上

※シンクライアント環境で利用する場合、十分なCPUリソースが確保されていないと、レスポンス低下を招く可能性があります。

※一部機能がタブレット端末ではご利用いただけません。

②様式作成における注意事項

クライアント側の画面描画性能を保つため、以下の標準範囲内での登録情報やView情報の様式作成を推奨します。下記の標準範囲を超えて業務を行う場合は、別途、性能のチューニングが必要となります。

②-1 様式作成の標準範囲

- ・タブ数は10個以内、様式全体の項目数は500個以内(セレクト項目は50以内)
- ・表形式(参照リスト含む)は10個以内(カラム数は合計で100以内)、
表の行数の平均は50以内、最大は200行まで
- ・項目間制御(セレクト、固定値、非活性、条件付必須)は50個以内(表内、表外含む)

②-2 登録情報とViewの検索画面の標準範囲

- ・検索キーは10個以内(参照項目は5個以内)
- ・部分一致の検索キーは3個以内
- ・検索結果一覧の表示カラムは30個以内

②-3 様式階層の標準範囲

- ・様式階層は5階層以内(ツリー表示のオーダ数は100以内)

②-4 ワークフローの標準範囲

- ・メインステータスは10個以内
- ・タスクの総数は200個以内
- ・アラームの条件数は10個以内

②-5 View様式の標準範囲

- ・Viewを構成する情報は5個以内
- ・Viewの表示項目は100項目以内

②-6 権限ロールの標準範囲

- ・ロール数は10個以内

②-7 公開APIの同時実施数

- ・同時実施数は100以内

4. 別紙（参考）

①お知らせの登録手順と表示内容

【登録手順】

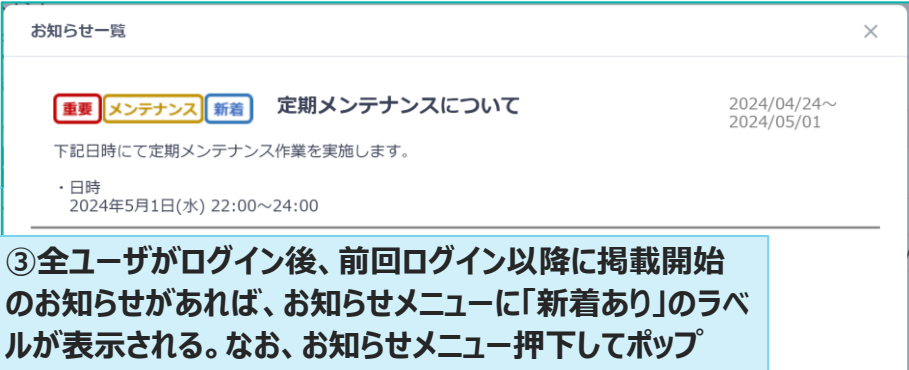


①管理者権限のユーザが管理者メニューの「新規登録」から、お知らせを押下



②お知らせ登録画面にて、ラベル、タイトル、本文、掲載期間、添付ファイルを入力後、保存ボタンを押下

【お知らせ表示内容】

③全ユーザがログイン後、前回ログイン以降に掲載開始のお知らせがあれば、お知らせメニューに「新着あり」のラベルが表示される。なお、お知らせメニュー押下してポップアップでのお知らせ画面が表示される

※FEクラウドサービスにおいて、Ver7にバージョンアップ後、上記お知らせ画面で定期リリースの周知を実施予定